

スケートパーク 構想資料

スケートパークの
コンセプトを考えていこう

・まずスケートパークとは、エクストリームスポーツである、BMX、インライン、スケートボード、スクーターなどが使用する施設の事
最近では分野分けをする、スケートボードパーク、スケボーパークなどあるが元々スケートパークを分野分けする事はない



ONLY BMX PARK



skate, inline,
scoot

僕たちも使用
したいよ～



URBAN SKATE PARK



やったーみんなで行こ～！

・スケートパークは主に3種類の素材、コンクリート、木材、鉄板をもとに作られている
素材により利点や欠点などもある、例えば『鉄板素材だとスケボーが滑りやすい』『木材だと雨に弱く痛む』『鉄板は強いから壊れにくい』『木材は補修が早い』『コンクリートは制作期間が短い』など

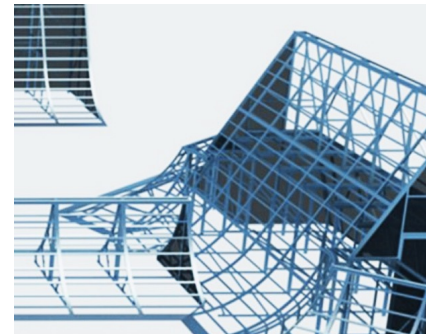
コンクリートパーク



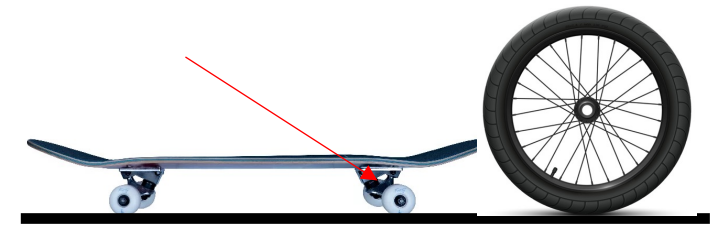
木材パーク



鉄製パーク



- なぜ分野分けを行うのか、セクションの違い
スケートボード初心者で使用するセクションでは、最低30cm～1m60cmほどのセクションに比べ、BMX初級者では60cm～1m80cmと少しサイズが変わります、これはタイヤのデカさが違うのでその様な差が出ます。
(プロライダーは基本的にスキルがあるので無関係)



タイヤの大きさ比較

- 共存するパークにするには
セクションを、スケートボード初心者30cm～BMX初級者1m80cmと幅の広い高さがあるセクションの配置デザイン力を求められます



10' Tall, 10' Transition Radius, 16' Flat Bottom, 6' Decks



8' Tall, 8' Transition Radius, 14' Flat Bottom, 4' Decks



6' 3-1/2" Tall, 8' Transition Radius, 12' Flat Bottom, 4' Decks



5' 3-1/2" Tall, 8' Transition Radius, 10' Flat Bottom, 4' Decks



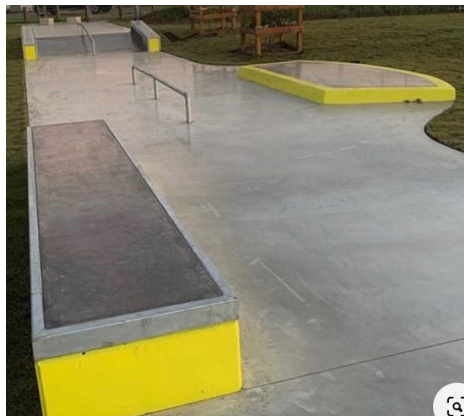
4' Tall, 8' Transition Radius, 8' Flat Bottom, 4' Decks



3' 3-1/2" Tall, 7' Transition Radius, 8' Flat Bottom, 2' Decks



2' 3-1/2" Tall, 6' Transition Radius, 6' Flat Bottom, 2' Decks



スケートボード向けデザイン(BMXでは16インチには好まれる)



初心者の共存をテーマにしたデザイン

・パークにもジャンルがある

パンプトラック (約3歳~50歳まで初めてでも乗れるパーク)

ボールスタイル (無理なトリックではなくサーフィンみたく流れを探すパーク)

パークスタイル (トリックに特化したパーク)

ストリートスタイル (街中の障害物を見立てたパーク)



パンプトラック



ボールスタイル

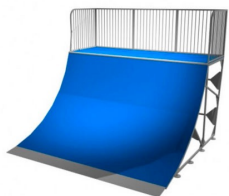


パークスタイル

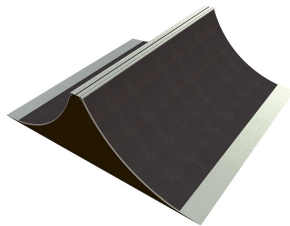


ストリートスタイル

- ・スケートパークにある障害物はセクションと呼び主に10個のセクションから構成される
- ・クォーター (Quater) - ハーフパイプを更に半分にしたもの
- ・スパイン (Spine) - クォーターパイプの斜面を背中合わせに重ねたもの
- ・バンク (bank) - 平らな斜面
- ・ウォール (Wall) - 壁
- ・レール (Rail) - 手摺りを模した鉄棒
- ・カーブ (Curb) - 縁石を模した直方体の台
- ・ボウル (Bowl) - 曲面に囲まれた窪地
- ・ボックス (box) - バンクにレールやカーブなどを組み合わせた台
- ・レジュー (resi) - スポンジマットを退いた上にゴムマットを乗せた衝撃吸収ジャンプ台
- ・スポンジプール (formpit) - 囲いの中にスポンジが敷き詰められていて危険なトリックの練習



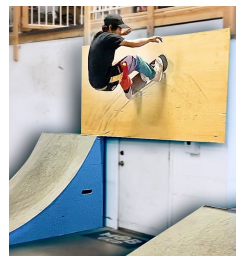
クォーター (Quater)



スパイン (Spine)



バンク (bank)



ウォール (Wall)



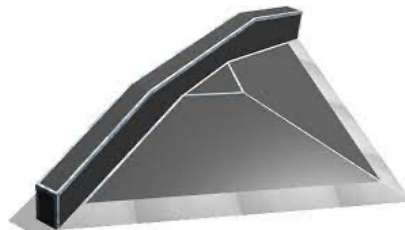
レール (Rail)



カーブ (Curb)



ボウル (Bowl)



ボックス (box)



レジュー (resi)



スポンジプール (formpit)-

(利用者区別見える化 (表))

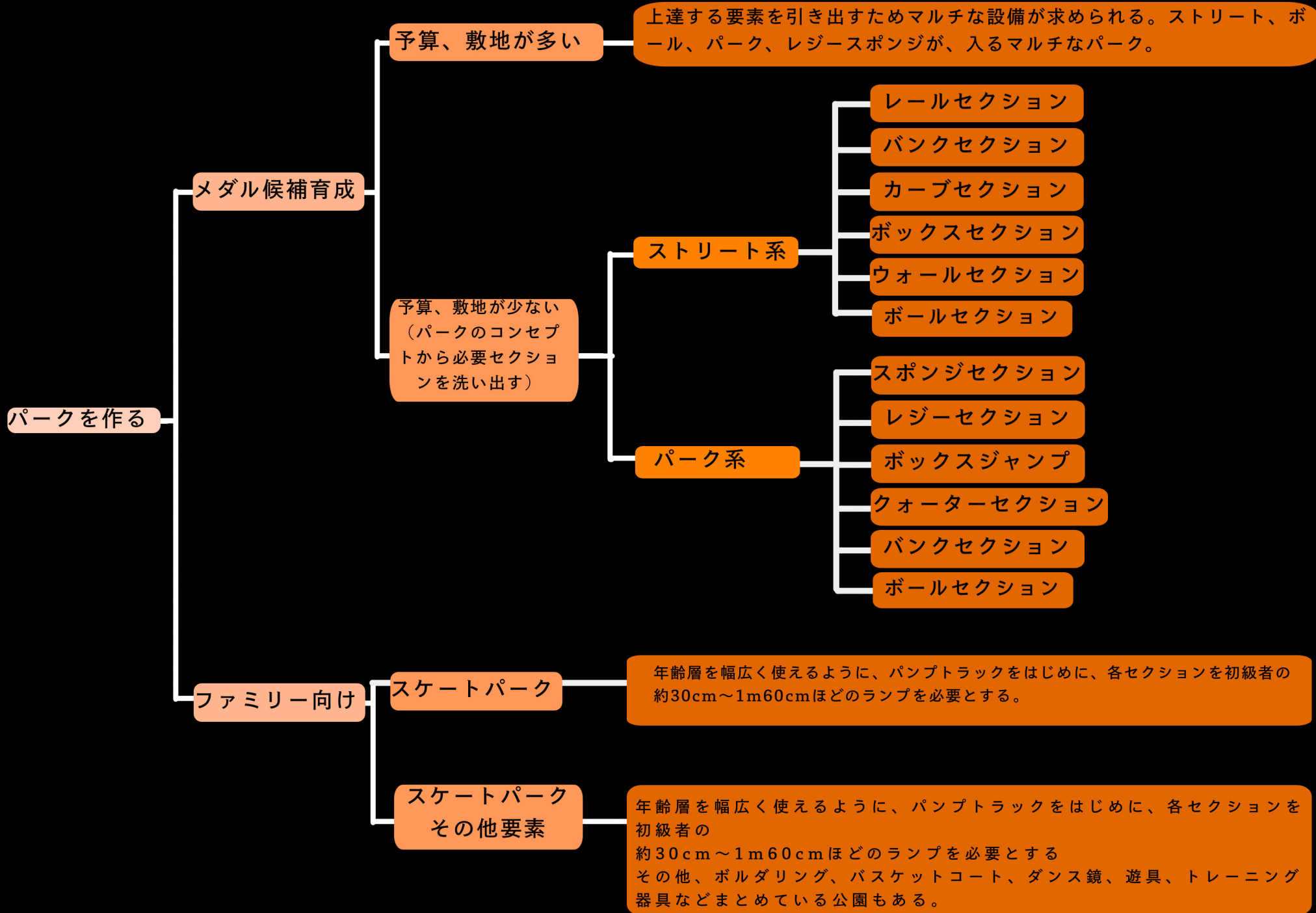
●A
BMXやスケートボードなどのアーバンスポーツで遊ぶなど遊びのフィールドを広げ、可能性を向上させる、JAMなど愛好者の集まるフィールドで自分をアピールする

●B
基本トリック習得し、国内公式大会に出場、強化育成選手に選出される

●C
強化指定選手に選出され、国際大会で決勝進出、国際大会、オリンピックでメダル獲得

●D
継続的にメダル獲得しオリンピックで2度メダル獲得





パークを作る

メダル候補育成

予算、敷地が多い

上達する要素を引き出すためマルチな設備が求められる。ストリート、ボール、パーク、レジースポンジが、入るマルチなパーク。

予算、敷地が少ない
(パークのコンセプトから必要セクションを洗い出す)

ストリート系

- レールセクション
- バンクセクション
- カーブセクション
- ボックスセクション
- ウォールセクション
- ボールセクション

パーク系

- スポンジセクション
- レジーセクション
- ボックスジャンプ
- クォーターセクション
- バンクセクション
- ボールセクション

ファミリー向け

スケートパーク

年齢層を幅広く使えるように、パンプトラックをはじめに、各セクションを初級者の約30cm~1m60cmほどのランプを必要とする。

スケートパーク
その他要素

年齢層を幅広く使えるように、パンプトラックをはじめに、各セクションを初級者の約30cm~1m60cmほどのランプを必要とする
その他、ボルダリング、バスケットコート、ダンス鏡、遊具、トレーニング器具などまとめている公園もある。

メダル候補育成パーク参考画像



パークスタイルとストリートスタイルの融合パークを求められる、デザイン次第ではボールスタイルを混ぜて、大人数でも充実した練習施設を構築できる。

ファミリー層



誰でも遊べる多様性が求められるため、パンプトラックをはじめボールスタイルから派生したストリート要素が重要、週末のピクニックで利用する方も多いので日除けできる木や屋根、その他の施設が求められる

デザイン性が溢れるパーク



このようにデザインを落とし込むことが可能、地域の名物と紐付けしてデザインに落とし込むことにより一体感が出る。

世界の異空間



閉鎖した協会やビル型のパーク、商業施設の中に組み込んだパークが世界にはあり、近年建築デザイナーの中で注目されている。

デザインによってスケートパークの人相が変わる

スケートパークを作成するにあたり問題の一つとして人相が問題視されると思います。

・私は世界のパークを回りスケートパークのデザインにより、人相が変わっていると感じております
例ストリート要素が強すぎるパークにはストリートより（落書き等が増えやすい＝ポイ捨てなどつながる）パークスタイルが強すぎると、趣味程度の層が入りにくく、利用できない。
などが思い当たる問題点です。

やはりクリアなイメージのパークを求められます。

クリアな要素とは、雰囲気がいい（ヤシの木がある、鮮やかなアートがある、視覚が少ない、など）

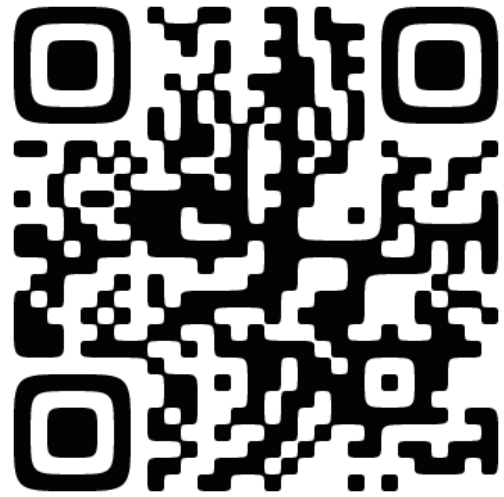
パーク利用者が求めている条件

中高生の利用が多いため、駅から2 km以内を求める（駅から遠くなれば公道で走行が想定）
趣味の大人が多いため、駐車場を求める（違法駐車が想定される）
など

安全面

海外での安全設備として、監視カメラ、ボタンで救急車が呼べるボックス、AED、などが設備されている

作成者



プロBMX ライダー

勅使川原大地

daichibmx@gmail.com

08069632142